

令和4年度 第2回 四街道市史編さん委員会会議録

会議名：令和4年度 第2回 四街道市史編さん委員会

日時：令和5年2月21日（火） 午前10時から午前11時

委員：小池米子、林良紀、須藤元夫、小山美知子、榎澤和夫、綿貫啓一、遠山成一

職員：久保木課長、長谷川編さん室長、中村主任

傍聴者：なし

10:00

須藤委員長 おはようございます。定刻となりましたので、これから今年度、四街道市史編さん委員会を開会いたします。1回目が6月28日でしたから、今年度2回目ということになります。

須藤委員長 それでは、会議を始めたいと思います。最初に社会教育課 久保木課長より、挨拶をお願いいたします。

久保木課長 皆さん、おはようございます。本日はご多忙の中、お集まりいただきましてありがとうございます。昨年は、「市制施行40周年記念写真集・写真に見る四街道の歴史」が発行されまして、好評で、9月補正をして増刷することができました。行政機関が出版している図書としてはなかなかないことだと思っております。これもひとえに、市史編さん委員の皆様をはじめ、中村先生のご尽力によるものと思っております。本当にありがとうございます。現在、来年度発行予定の「四街道市の歴史資料編近現代2」の発行に向けて編さん作業を進めていますが、引き続き、皆様のご協力をお願いできればと思っています。よろしくお願いいたします。

須藤委員長 ありがとうございます。

長谷川編さん室長 本日の出席委員は全員の7名でございます。従いまして、四街道市市史編さん委員会条例第5条第2項の規定に基づき、過半数に達しておりますので、本会議が成立いたしますことをご報告いたします。

須藤委員長 ありがとうございます。それでは、次に会議に先立ちまして本会議の公開・非公開の決定についてお諮りします。事務局から説明をお願いします。

長谷川編さん室長 はい。市では、審議会等の透明性や公平性を確保するため、会議の公開制度を設けております。「四街道市審議会等の会議の公開に関する指針」では、審議会などは原則公開としており、情報公開条例第8条における非公開情報を審議する際には、

非公開と決定することも可能でありますことを申し添えます。なお、本日は非公開情報にする議題がないと考えております。

須藤委員長 本委員会の開催ですが、非公開情報にする議題がないため、公開としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

須藤委員長 異議なしということですので、公開といたします。次に、会議録についてネット上で公開されているのはご存知のとおりですが、発言者の氏名が記載されております。本会議の会議録についても発言者の氏名を記載する可否についてお諮りします。事務局から説明をお願いします。

長谷川編さん室長 会議録の公開につきましては、「審議会の会議の公開に関する指針の解釈運用基準の規定」により、発言者の氏名を明記することと示されております。

須藤委員長 はい。発言者氏名が記載されますのでご了解ください。それでは次に進めます。傍聴人の件ですが、本日、傍聴人はいらっしゃいますか。

事務局 傍聴人はおりません。

須藤委員長 はい。それでは、傍聴人はいないとのことですのでそのまま次に進めます。それでは議題に入ります。議題1「四街道市の歴史 資料編近現代2」の構成について事務局から説明をお願いします。

事務局 はい。それでは、会議次第2議題1の「四街道市の歴史 資料編近現代2」の構成についてご説明させていただきます。皆様のお手元の資料1をご覧くださいましたらと思います。

中村主任 私から説明いたします。6月に提示したものと若干違っていますが、このような形にしようと思っています。資料編2については、明治から戦前までの軍事関係のみの資料集にするということを考えております。来年度発刊ということで、構成について今回は、第1章と第2章という構成にしてあります。第1章については、演習場・軍事関係の施設の関係ということで200ページ前後予定しています。ここにアジア歴史資料センター等の関係の資料と、地元に残る井岡さん・小川さんの家の古文書を中心として、新聞記事など面白い記事も取り入れて中に差し込んでいこうとしています。現在までに明治21年から昭和16年くらいまでのものを見ました。四街道の新聞記事は明治、大正にはよく出てきていますが、戦争時には秘密事項になっていますので、記事が少なくなってきました。明治、大正には演習場の関係

が非常に多く出てきまして、当時の様子がよくわかります。資料についてはこちらの方を参考にさせていただきたいのですが、現時点では、かなり資料が少ないのですがもっと増えます。配布資料は、第1章分しかありません。第2章については、これからまとめて、出していきます。それでは説明をします。第1節からは陸軍の偵察録、明治15年当時の様子がわかる記事です。第2節が、下志津原演習場。第3節は、砲兵学校、射撃学校。第4節は、十七連隊、十八連隊と第四連隊。第5節は、下志津病院関係。第6節の陸軍飛行学校。第7節は行幸、行啓関係。第8節は軽便鉄道。第9節は、町村の動向から、地元がどのような考え方を持っていたかな、新聞記事と井岡さん、亀崎区有、小川さんの資料を使って、地元と演習場の関係、軍事施設の関係を取り上げる予定です。特に追加で、プラス面として、廃弾の払い下げがあり町はお金が潤ったというのが確かであり、大砲、金属の処理の関係や、学校から出る馬糞と人糞の払い下げといった関係の周辺の農家がプラスとなった記事です。一方、マイナス面としては、演習場の拡張で土地を取り上げられた関係です。周辺の農家にとっては大変でした。大量の演習をやっているから危険というのがある。廃弾処理で不発弾でかなりの死傷者も出ています。こういったことを含めて資料に載せていく予定です。

これが第1章というくくりで、200ページくらいになればと考えています。資料の収集が進んでいますので、あと、明治の初期の資料があればと考えています。第2章については、資料は提示していませんが、戦争に行った兵士たちの書簡を中心としたものを載せていき30ページくらい予定しています。1節は、日露戦争から始まり、大正期は二点くらい。3節は、日中戦争です。日中戦争より前は満州事変が起きて、その後、満州国ができますが、当時反対する人たちの討伐で戦死した林田さんという方がいまして、書簡があります。日中戦争は齋藤さんという方が戦死しています。その書簡が残っていますのでそれを載せる予定です。日露戦争については、井岡さんのもので残っていたものと栗原東洋さんが町史編さんのときに集めたものが残っています。

資料解説と新聞目録、地図があったほうが良いのではとのことですので地図を一部入れる予定です。総ページが250ページです。このような構成を考えています。あまり紙ばかりだと～と言われてしまいますので、石碑関係は写真等を載せていきたい。石碑関係は軍馬の石碑とか駐屯地くらいしか残っていないので戦前のものについては、その二点か三点くらいしかないとは思いますが、そういったものを使い潤わしていく予定です。資料1の説明は以上です。

須藤委員長 ありがとうございます。前回はもう少し荒いものが出されて、一度説明をいただいて、みなさんからもの意見をいただいたものが少し事細かに整理されて具体的な資料として用意されています。これが全てではないですね、一部ですね。

中村主任 まだ、これは初期の段階です。

須藤委員長 これからいくつも加わるようです。ということですので、第2章は手元にありませんが、皆様のご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

綿貫委員 地形図のほかに独立した歴史上の地図は、習志野の記事などで別に記録のような形で作ったりしないのですか。

中村主任 はい。それは経費がかかるのでおそらく無理かと思います。中に入れていくという形しかできないのではないかと。

綿貫委員 大きな地図とか。

中村先生 A4版ですね。A3版は厳しいかなと。

須藤委員長 折り込まない、ということですよ。

中村主任 写真集のA4版には地図は載せています。あとは、榎澤さんが講演で使ったものはA3版ですのでこれをA4版に小さくするとかなり真ん中が厳しくなってしまうので、地図といってもそこが限界かなと。

須藤委員長 綿貫さんから地図の意見がでましたが、そのほかにいかがですか。

榎澤委員 話に出ていなかったところですが、軍馬の碑の話が先ほどあったかと思います。その横にある、栗山半台児童遊園の下志津陸軍墓地に関わった内容はありますか。

中村主任 その内容を載せるかということですか。そこはよく紹介されているので、今のところ、軍馬と忠魂碑を想定しています。あと、日清戦争がないので、日清の石碑など残っていればと考えているのですが。日清がなかなか見つからない状況です。ただ聞くところによると、あるという話ですのでそこら辺は行ってみたいと思います。

須藤委員長 他の方いかがですか。私からもいいでしょうか。資料1に書かれていることと先生が説明された追加で出されたもので表記が微妙に違っていたりしていますが、まだ整理されていないということでしょうか。

中村主任 それは、あくまでも略称です。実際は正式名称でやります。

須藤委員長 そうですよ。それと併せて、今、綿貫委員からも出ましたが、地図があったほうが、良いと思います。四街道のことを初めからわかっている人ばかりがいるわけで

はないので、位置関係はぜひ、わかるような形のものがあるといいですね。ほかの方は如何ですか。

須藤委員長 前回、遠山委員から鉄道関係のことで提案がありましたが、軽便鉄道の資料はある程度限定されてしまいますか。

中村主任 そうですね。その関係資料はないですね。だから新聞記事になります。鉄道連隊が千葉まできてたのでどちらかという鉄道関係は千葉市のですから。その部分だけ切り取ってというのは難しい。ここはまとめてしまうほうがいいのかなと思います。

須藤委員長 節を、6と7を一緒にするという意味ですね。

中村主任 その内容の資料によって、一緒にします。なかなか鉄道関係は難しいです。

須藤委員長 その他にいかがですか。

意見なし

須藤委員長 確認ですが、総ページ数だいたい250を想定していて、500部を作るというのが今まででしたが、500部の想定でいいですか。

中村主任 はい、500部です。

須藤委員長 作るのは来年度ですね。これから予算が確定していく話ではありますが。今、着々とそういうことでこの作業が進んでいるということです。何かご意見なり、ご要望なり、いただきたいと思いますが、いかがですか。

小池副委員長 よくわからず申し訳ないのですが、四街道が演習場で、昭和にかけてずっと戦争に招かれています、その一番最初の発端というか、なぜ四街道が演習場の地になったのか解説していただきたいです。

中村主任 これは、諸説があります。昔の四街道が発行しているものがありますよね、でも、根拠となる資料がないですね。大村益次郎というふうには四街道の発行物に書いてあるのですが、大村益次郎はその時代では暗殺されていますよね。どうしてその大村益次郎が出てきたのかよくわからないのですが、その説は無理があるなと思います。陸軍卿ということで徴兵制度の基礎を作ったからということがあるかと思いません。今は山県有朋と西郷隆盛の二人だろうと言われていています。

小池副委員長 最初は、どこからなんでしょう。

中村主任 佐倉藩の関係があると思います。佐倉藩の演習場の関係から山県有朋と西郷が認可していったのではないかと思います。

小池副委員長 まだ、明治10年、20年あたりまで国がそういう状態の時に四街道に目を向けられたのはどういうことなのかなど。

中村主任 富国強兵政策ということで、演習場を東京周辺に作っていくのが間違いないということですね。

榎澤委員 体裁のことでお聞きしたいのですが。それぞれ1節から9節で資料が載るわけですが、その資料の頭に、例えば、下志津原演習場というのは、今お話があったようにどのような経緯で作られてどのような意義を持っているのかというところを少し書いていただくと良いと思います。3節でも砲兵学校のことですが、射的学校から射撃学校、射撃学校から砲兵学校に移ったというそういう歴史上の意味とか流れみたいなものが、まず最初に、数行でも半ページくらいでもいいのですが、書いてあると次の資料を読むにあたって、イメージが湧くかなと思います。

中村主任 写真集ではそれをやったのですが、これまで資料集ではそういうやり方はしていません。してないからこそわかりづらいというのがありますが、必要だとは思っています。本来は1節1節ごとに扉を作ってそこに写真を入れて説明資料が一番いいのですが、それだとかなりページが必要となるので、経緯を説明していくという方法がいいかなと思います。

須藤委員長 そうですね。簡単な説明とできれば写真集で使ったものと被っても構わないとは思っているので、一つでも写真が入ってくると、ずっと見やすい、読みやすいものになってくる気がしますね。

中村主任 それは後で調整すれば何とかなるかもしれません。

須藤委員長 何とか連隊と言われても、何とか連隊ということだけはわかるけど、その資料が突然始まるわけですので、入口がわからないのはかなり厳しい。可能でしたら、検討してみてください。他にいかがでしょうか。

意見なし

須藤委員長 資料1の説明についていろいろとご意見いただきました。この件については話を閉じます。この形で継続して進めていただくということによろしいでしょうか。

異議なし

須藤委員長 ありがとうございます。それでは、議題の2番目、資料2、「写真に見る四街道の歴史」についてよろしく申し上げます。

長谷川編さん室長 はい。では引き続きまして、会議次第2議題2「その他」をご説明させていただきます。皆様のお手元の資料2をご覧いただけましたらと思います。市史編さん委員様のご意見や市民の方からのご要望がありまして、9月に増額の補正予算を提出しまして、500冊増刷いたしました。値段や内容は初版のままでございます。販売状況としては、増刷自体が初めてなので、良いと思われまして。今回の、有償頒布の場所としましては、2か所といたしました。従来の社会教育課市史編さん室と本庁の総務課情報公開室で販売いたしました。販売状況はお示ししたとおりでございます。また、市内の小中学校に寄贈を初版でもしていますが、今回の写真集を教材にしたいという動きがありまして、各学校の図書室に寄贈させていただきました。実際それが教材となるかは、これからとなりますけれどもまず第一歩でございます。私からは以上です。

須藤委員長 この、「写真に見る四街道の歴史」は、この前の会議で増刷が可能でしたらお願いしたいと要望のような形で出していましたが、その後、事務局でご努力いただいて、予算を何とか確保し増刷が可能となって、今説明があったとおり、もう一度500冊再販したということですね。500冊作って、122冊、1月末時点で売れたということですか。

長谷川編さん室長 はい、そうです。

須藤委員長 で、どこかに寄贈されたということですが、今、残部は。

長谷川編さん室長 350冊程度です。情報公開室にもあるので。

須藤委員長 165と最後に書いてあるのは社会教育課にということですか。

長谷川編さん室長 はい、そういうことです。

須藤委員長 今のご説明で何か、ご意見やご質問はありますでしょうか。

遠山委員 市内の小中学校に寄贈されたとのことですが、高校のほうはどうですか。

長谷川編さん室長 初版で、四街道高校、四街道北高校、愛国学園高校に寄贈いたしました。

須藤委員長 市内の全学校にはみんな贈ってあるということですね。

長谷川編さん室長 はい、そうです。

須藤委員長 高校、大学もですか。

長谷川編さん室長 はい、大学もです。

須藤委員長 他にいかがですか。

須藤委員長 そうすると現在は、まだ、社会教育課と、総務課情報公開室で継続して販売しているということですか。

長谷川編さん室長 はい、そうです。

須藤委員長 これまで出した、市史関係のものも同じですか。

長谷川課長補佐 いえ、情報公開室のほうは今回の写真集のみです。

須藤委員長 これまで出した市史資料についてはどうですか。

長谷川編さん室長 社会教育課市史編さん室で販売しています。

久保木課長 40周年記念写真集を買いに来た方が、30周年記念誌も併せて買っていかれる方や過去の資料も併せて買った方もいます。

須藤委員長 せっかく作った資料ですので、できれば皆さんのもとに知らせる機会があるといいですね。

榎澤委員 こういった本は、一般の書店では取り扱ってくれないのですか。「写真に見る四街道の歴史」は1,500円です、すごく安いですよ。今、千葉県内の色々な都市に関わっていて、写真に見る何とかというものが売っているんですね、それは1万円近くして、なかなか手に取れないような金額だけど、すごくハンディだし、1,500円だし、例えば、ヨーカドーの本屋さんとか、近所の本屋さん置いてもらえませんか、ご協力を仰ぐことはできないのですか。

久保木課長 今回の市史発刊の時に地元の書店にお願いすることを考えたのですが、本屋さんは、バーコードを使用していますが、この本にはバーコードは付いていません。また、手数料が発生するので、断念いたしました。

須藤委員長 検討されたということですが、無理だったですね。他の市町村でもやはり同じですか。

綿貫委員 3割5分位安くしないと受け入れてもらえないですね。

須藤委員長 本屋さんにあずけるのはなかなかハードルが高いということですが、例えば、中村先生をはじめとした皆さんが市内のどこかで講演される機会があると思いますが、そういう機会に社会教育課のほうで持っているものを売るということはできないのでしょうか。

久保木課長 現金の取り扱いは、出納印があるので、できなくはないと思います。

須藤委員長 榎澤先生が話を先日市民大学でお話しされたのですが、今回の写真集に演題がかぶっているのです。そういうときに置いてあったら売れるだろうなと思いました。

須藤委員長 公金の扱いの問題だったり、いろいろあるかと思いますが、可能であればご検討ください。他に皆さん何かございますか。よろしいですか。

意見なし

須藤委員長 ありがとうございました。議題はこの2件ですが、他に何かありますか。

須藤委員長 他に議題はないようですので、以上で市史編さん委員会を閉じてよろしいでしょうか。

異議なし

須藤委員長 はい、それでは以上で第2回目の市史編さん委員会を閉じたいと思います。皆様ありがとうございました。